

＜提出された意見全文＞

意見を原文のまま掲載しております。

※個人情報等に関する部分は一部原文を修正しております。

意見者番号	意見内容
1	<p>寒川町スポーツ推進計画を読んで 体育協会は種目団体で競技者を中心に活動している。 競技団体は小学生、中学生、一般（若い頃からスポーツ行っている人）対象。 各協会主催で町広報等で町民に広く参加を呼びかけているが、専門性高く一般人は参加しにくい。 競技団体に加盟している小学生、中学生、高校生、一般の競技会になっている。 スポーツの楽しさ、競技力が向上した人は大学生、社会人になっても続いて、将来的には町の指導者として貢献しています。又10年に一人はトップクラス選手になっているが、町の中にはトップ選手が活動する。 施設、環境（企業、クラブ等）がなく町を出て環境の整った所に行く事になる。 一方で現役世代向け（40代～60代）の運動習慣を身につけ健康保持、増進する為のスポーツイベントは少ない。 高齢（65才以上）向けイベント（教室等）は幾つか実施されているが限られた人達。 現役世代向け（40代～60代）健康保持、増進する為、イベントを行い継続して参加頂けるイベントを開催するには町のスポーツ、健康保持活動、団体（体育協会、レクリエーション協会、スポーツ指導員等）元気プラン活動、地域活性化。 バラバラに活動している為、目的は同じ（健康保持して楽しい日常生活を送れる環境作り）で活動しているが成果が低い。 近年は種目別競技団体（体育協会）、レクリエーション協会、従来スポーツと少し異なる種目がオリンピック種目になっている。 又近年では体育科目にダンスが組いられ、スポーツと言われる範囲が大きく変わってきている。 以上の事から町のスポーツ関連団体を一本化して、競技者育成、健康保持向け大きく二つ目的持ち活動した方が効率的で判りやすい。</p>

中学生の部活動への指導者派遣

指導者資格有無問題、教職員との関係、中体連等まだ色々な検討課題が多い。

競技団体によっては公認化（指導者資格）、協会の資格制度なく経験者が指導。

対外試合等の場合、地域、中体連との関係（現状、顧問教員が競技役員も受けている大会が実施されている）

教職員の労働時間軽減策としては効果はあると思うがマイナス面の方が大きい。

教職員の達成感、やり甲斐の低下→（部活動含めた活動場）

スポーツ施設

町内の施設ではトップ選手が活動出来ない又環境もない（活動場、生活面サポート）。

現有する施設を有効に利用して、将来のトップアスリート育成、週1回運動習慣を身につけて頂くスポーツ環境作り。

体育館、田端運動公園など利用者が使い易い利用方法に見直し、個人利用者でも利用できるようにする。

現役世代向け利用できる時間帯（18時～21時）設けて現役世代の利用を増やすプログラム設定。

新しいスポーツ

町にはどの位のスポーツの種類、備品、指導者有無、場所等が町民から見ても分からない。高齢者向け種目のイメージが強い。

一部、スポーツ吹き矢協会みたいに確立された団体もあるが、全体的にPR不足に思える。一定の期間定期開催し（参加者が自立出来るまで）サポート出来る仕組み作り。

プログラム例（元気プラン活動と重なる）

美容効果（汗をかき身体代謝も活発）、有酸素運動によって血液の循環も良くなる、脳を鍛える、ストレス解消効果、寝たきり防止、心肺機能を高める。

先般ニュース等で流れていましたが、借りて住みたい町1位に本厚木が選ばれたと思います。

理由は近場にリフレッシュできる自然環境を上げられていました。

県が現在工事進めている相模川グリーンライン（完成後、海老名～寒川～

平塚) サイクリング、ランニングコース等健康保持、増進する、田端運動公園等を少し見直しすれば町内だけでなく広く人を集められ地域活性化が図れるのでは？

実際に町民向けにどんなイベントを開催が出来るか検討する。

運動習慣を身につけ体調管理(体力、精神面)を増進する為イベント開催

- ①誰でもが参加でき継続して行える運動(体力的、楽しさ)
- ②ターゲットは人口比例で多い40代~60代現役世代向け大人の部活動
- ③地域活性化と結びつけた活動
- ④他の市町村では運動した時間、距離、歩数をポイント管理して地域商工会協賛してイベントを開催

上記から健康保持、増進する為イベント

(例)

- ①中央公園を起点としたウォーキング、イベント開催を年2回(春、秋)イベント開催、歴史史跡巡り(神社仏閣)、季節ごと(桜巡り、相模川から富士山)
- ②上記イベントに参加する為、練習コースを設定して運動習慣の促進を図る。

目標設定(案) 目標達成させる支援行事開催 ポイント配布(認定書、記念品) 地域商店と連携しポイント使用分の割引等を検討。

スマホ無料アプリ、万歩計で測定(体メイト)参加者メリットを持たせる。

- ①5000歩で痴呆症対策→1日5000歩以上歩く 3.5k
- ②8000歩で生活成人病対策→1日8000歩以上歩く 5.5K
- ③10,000歩以上 心肺機能、有酸素運動 7k

期待される効果(市販されている本より)

美容効果(汗をかき身体代謝も活発)、有酸素運動によって血液の循環も良くなる、脳を鍛えるストレス解消効果、寝たきり防止、心肺機能を高める